

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード	1-4-1		事業名	大学成果活用推進事業
担当	経済局産業振興部産業企画課 藤原 211-2379			
全体計画（当初）				
事業内容	北大北キャンパスエリアの研究成果を活かし、研究開発から事業化まで一貫した機能と企業群の集積を図る「北大リサーチ＆ビジネス（R&B）パーク構想」が産学官連携で推進され、本市はその推進協議会に参画し、産学官連携してこの構想を実現するための事業を実施する。		＜年度別の事業内容＞	
			[16～18年度] コア・コーディネーター設置費 R & B創業育成推進事業 R & Bサテライトステージ運営事業費 [17～18年度] インキュベーションモデル事業	
事業内容（量・場所・規模等）	平成16年度事業内容（決算）		平成17年度事業内容（決算）	
	コア・コーディネーター設置費：北大北キャンパス内に核となるコーディネーターを配置し、産学官連携の推進とニーズ・シーズのマッチングを行う。 R & B創業育成推進事業：バイオ分野における創業にかかわる総合的なプログラムの開発及び実践。 R & Bサテライトステージ運営事業費：大学等の研究成果の活用を希望する企業が様々な情報収集や各種相談を受けることができるスペースを市中心部で運営。		～を継続させるとともに以下の事業を加える。 インキュベーションモデル事業 北キャンパスに立地する2施設（道立工業試験場・コラボほっかいどう）が、将来性の高いベンチャー企業にスペースを提供し、また事業化経費の一部を助成する。	
事業内容（量・場所・規模等）	平成18年度事業内容（決算）		評価（成果）	
	北大リサーチ＆ビジネスパークのプロジェクトの事業化支援北海道大学発の研究開発案件が事業化するために必要な支援を行い、成果の創出を図った。 企業・研究者・コーディネーターのネットワーク形成 企業・研究者・コーディネーターのネットワークを構築し、それらの交流から事業化できそうなプロジェクトの発掘、共同研究等の創出を図った。 については継続。		北大リサーチ＆ビジネスパーク構想を推進するために設立された同構想推進協議会に支援各機関が参画し、施策実施について意識統一することにより、効率的な施策を展開できた。北大北キャンパスに集積する試験研究機関で蓄積されている研究成果を必要とする企業に円滑につなぐことが可能となった。	
			課題	
			北大の研究成果を活用して起業するベンチャー企業に対する支援	
19年度以降の方向性（事業予定）				
平成20年度：起業家を支援するインキュベーション施設が同エリアに建設される。本市は、この施設に入居するベンチャー企業に対して、賃料の一部補助を実施予定。（北海道と応分の負担）				

